

令和4年新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、御家族ともども穏やかな新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

一昨年来の、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域における活動が制限される中、各種交通安全活動の推進に深い御理解と多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年中の県内における交通情勢につきましては、人身交通事故は10,002件前年比プラス736件、傷者は12,297人前年比プラス673人、死者は50人前年比プラス5人と大幅に増加するなど、大変厳しい状況でした。

また、交通事故死者数のうち高齢者の割合が6割以上を占め、高齢者が加害者となる事故、被害者となる事故ともに増加している状況であり、あらためて高齢者の交通事故防止対策の必要性を認識しているところです。

当協会におきましては、高齢者の事故防止対策として、女性部を中心に各地域における高齢者宅家庭訪問活動を通じ、普段高齢者が使用している靴に反射材を直接貼る「足元に生命（いのち）の発信運動」を推進しているほか、交通安全教育車「ふれあい号」を活用した出前式交通安全教育や高齢者交通事故防止ポスターコンクールの開催など、県及び警察をはじめ、関係機関・団体と緊密な連携の下に、地域に密着した効果的な交通安全対策を引き続き強力に推進し、安全で安心して暮らせる交通社会の実現に向けて取り組んで参りますので、会員の皆様におかれましてはより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年は、第11次群馬県交通安全計画の二年目の年であり、引き続き人身交通事故の発生件数、死傷者数の減少に向け、組織一丸となって各種交通安全対策を推進していく所存であります。

結びに、本年が皆様方にとりまして幸多い年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

令和4年1月

公益財団法人群馬県交通安全協会

理事長 町田 錦一郎